

# 千年の森便り No.146

2015.9.25

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

9月23日(水・秋分の日) 晴

参加は新井通子、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、坂本、高橋洋子、田島、根本、福島、真鍋、村野、山口、新入会の及川、そして体験参加の井藤敏子さんも加わり合計16名。全員で二ホンジカ調査の後、グループ別にきのこや植物・昆虫の観察、ほこら山の伐木、物置の竹屋根架けなど行いました。この日は天候と沢山のきのこに恵まれ、楽しい一日でした。また難しい伐採作業と屋根架け作業担当の皆さんにはご苦勞の多い作業でしたが無事故で何よりでした。(真鍋)



### ○二ホンジカ生息状況調査

2015年度2回目の二ホンジカ生息状況調査を行いました。調査時間は9:50~10:30で、いつものように島内を7コースに分かれて踏査し、シカ(目撃、声、足音)とその痕跡(フン、足跡)を探索しました。今回は、シカの目撃はありませんでした。シカはそろそろ発情期に入る頃なので、オスシカの動きがだんだん活発になってくると考えられます。(福島)



二ホンジカ 9/17 06:06

### センサーカメラの画像から

9月4日から22日までの間にシカが7回、サルが4回写っていました。シカはどの画像も同一の親子連れ2頭の可能性があります。

サルは群れで行動するのが常なのに、今回は何れも単独で写っていますので群れから離れた放浪の若い雄か、ボスの座を追われた老猿かもしれません。(坂本)



二ホンザル 9/07 14:30

### ○ほこら山伐木

ホコラ山にかろうじて残る「ネズ」の照度確保のため周辺樹木の伐採を行いました。延び延びになっていた作業でしたが、清めと安全祈願の後、東側のコナラの双幹樹3本とウラジロガシ1本を伐採しました。

ウラジロガシは樹径約25cm、樹高約15mでホコラ方向に傾き伐倒方向が危ぶまれたが、チルホールを駆使し参道右脇に安全に倒すことができました。苅米さんのチェンソー技術と福島さん、山口さんのコンビネーションで安全作業のうち終了しました。伐倒の際、隣接樹の枝が折れ、枝係りになりました。直接落下の恐れはありませんが安全のためホコラ山参道の通行を禁止します。枝係りと西側に残った伐採は次回以降行います。(根本)



大物の伐採を無事終えて

### ○仮設物置

大原さんの主導の下、4名の応援を得て順調に進められました。炭窯跡に半割の竹を使って屋根を作る作業で、頂部で左右からの竹を釣り糸や針金で組み合わせます。この作業は、約八分の出来で残りが50cmあり、竹の資材が足りない



半割の竹組み合わせせて屋根づくり

ので新たに竹を伐採、半割れの竹を作る必要があります。作業が完成していないため、ブルーシートで屋根を覆って終了しました。(久我哲也)

### 〇きのご観察

今回もたくさんのきのこを見ることができました。シカの生息状況調査の途中、島の北岸でサクラシメジやベニチャワンタケ?が出ているのを見つけました。また、シカ調査のあと、いつもの場所を探索したところバカマツタケやクロラッパタケが出ているのを見つけました。比較的乾燥した斜面ではクロハツとその近縁種と思われるものがたくさん出ていました。



沢山のきのこを同定中の村野・坂本さん

まだお彼岸の時期ですが、今年はきのこの発生が早い感じがします。(福島)



サクラシメジ 9/23



バカマツタケ 9/23



クロラッパタケ 9/23



ホウキタケの仲間 9/23

村野さん整理のこの日のきのこ目録は以下の通りです。

### 9月23日採取きのこ目録

テングタケ科	タマゴタケ、カブラテングタケ、オオツルタケ、ツルタケ、ヘビキノコモドキ、コテングタケモドキ、テングタケ、シロオニタケ、フクロツルタケ、ドクツルタケ
ハラタケ科	ハラタケ属の仲間
キシメジ科	ミネシメジ、ホウライタケの仲間
ヌメリガサ科	サクラシメジ、バカマツタケ
ヒラタケ科	ウスヒラタケ
ベニタケ科	ヤブレベニタケ、シロハツ、クロハツ、ウコンハツ、ケショウハツ、カワリハツ、(チチタケ属)チチタケ、クロハツモドキ、チチタケの仲間
イグチ科	アカヤマドリ、ヤマドリタケモドキ、コガネヤマドリ、オニイグチ、ニガイグチsp、
その他	フウセンタケsp、オニフウセンタケの仲間、コウタケ、ケロウジ、ノウタケ、アシグロタケの仲間、クロラッパタケ、フジウスタケ、ホウキタケの仲間、ニワタケ、コイヌノエフデ、ベニチャワンタケ

その他多数

### 〇植物観察

皆伐地の新たな開花植物はアキノキリンソウ・アキバギク(キヨスミギク)・シロヨメナ・ダンドボロギク・ヒヨドリバナ・返り咲きのタチツボスミシでした。また、近くで70mほどのアオダイショウに遭遇しギクッとしました。これから秋も深くなれば新たな風景に出逢えるのでしょうか。(新井通子)



アキノキリンソウ 9/23



アキノギンリョウソウ

伐木準備中、根本さんはほこら山斜面にアキノギンリョウソウを発見しました。分散して5株開花していました。

昨年クロヤツシロランが密生していた巨木林や保護柵内で花を探しましたが、少し早いか、見つからず残念でした。蒴果株発見から6年目にして、花が見つかりません。9月末から10月初めに入林する方は探してみてください。(真鍋)







○野鳥記録

トビ1+声 カワセミ1+声 モズ高鳴きの声 ハシブトガラス声 ヤマガラ声 シジュウカラ声 エナガ声  
ヒヨドリ声 メジロ声 コゲラ声 以上 10 種

先月に引き続きカワウの姿が見えませんでした。トビも帰り間際にやっと1羽確認しました。貴重種とは真逆の両種ですが、急に姿が見えなくなると何かあったのかと気になります。モズの高鳴きは冬越し備えて縄張りを確保するためにする行動で、秋の風物詩です。(坂本)

○昆虫観察記録

秋晴れで気温も高く虫日和、チョウがよく飛んでいた。ツクツクボウシとコオロギなど「鳴く虫」たちの声が森に響く。夏から秋へ、虫の音色からも季節の移ろいを感じる。豊英湖は水量が多く、地面は現れていなかった。水辺に降りられると、もっと沢山のトンボに出会えたと思う。

<p><b>オオハナアブ</b> オトコエシの花は虫たちのレストラン。今日はオオハナアブが多い。複眼が縞々できれい。</p>		<p><b>センチコガネ</b> おいしいキノコ?それとも毒キノコ?糞虫だが、キノコを食べるとは結構グルメのようだ。</p>	
<p><b>ホシヒメホウジャク幼虫</b> 頭を後ろに反りかえらせイナバウアーのポーズ。警戒しているのだろうか?</p>		<p><b>オオアオイトトンボ</b> 緑色に輝く綺麗なトンボ。11月頃まで、水辺近くの木に産卵する。</p>	

(他に観察された昆虫)

ノシメトンボ、ナツアカネ、ホソミイトトンボ、モリチャバネゴキブリ、オオカマキリ、モリオカメコオロギ、エンマコオロギ、ヒシバッタの一種、マダラスズ幼虫、ツクツクボウシ、ツマグロオオヨコバイ、オオセンチコガネ、コアオハナムグリ、オジロアシナガゾウムシ、クロウリハムシ、コクロヒメテントウ幼虫、カブトムシ幼虫、トラマルハナバチ、セグロアシナガバチ、キンケハラナガツチバチ、ムネアカオオアリ、ハキリバチの一種、ヤマトシリアゲ、イシアブの一種、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、キタキチョウ、ヒカゲチョウ、コムスジ、クロコノマチョウ、ヒメジャノメ、イチモンジセセリ、ホタルガ、ヘリオビヒメハマキ、クロオビノメイガ、アカヒゲドクガ幼虫 (田島)

自然を楽しむ姿に魅せられて

及川 朋

6月から3ヶ月の間体験参加させていただき、皆さんの素直に自然を楽しむ姿に魅せられ、入会させていただきました。

思えば、この数十年間、自然は見るものであり体を使って楽しむものではなかった(林内の保全是作業なので…)ように思います。昨日は久しぶりに童心に帰ったかのように、無心で竹による小屋の屋根葺きに没頭して、あっといふ間の楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

今後もよろしくお願いいたします。

## お知らせ

### ○新会員紹介

ここ何回か体験参加されていた及川朋（おいかわあきら）さんが正式に入会しました。及川さんは千葉市花見川区在住で、森林のみならず環境問題に幅広く興味をお持ちとのこと、さまざまな団体に活動されています。（事務局）

### ○次回活動日 10月18日（日曜日）

秋のきのご観察会（添付「秋のきのご観察会ご案内」の通り）、参加希望者は[[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)]宛早めに申し込みください。メールの無い方は電話 090-6929-6811（伊藤事務局長）宛申し込み下さい。集合は木のふるさと館 9時30分、参加会員には早めに集合し会場準備などの準備作業を別途お願いします。この日には他に仮物置整備や野鳥・昆虫・植物観察等行います。（事務局）